

会 議 録

- 1 会議名
平成30年度 第1回阿賀野市行政改革推進委員会
- 2 開催日時
平成30年7月20日（金） 午後2時から午後4時まで
- 3 開催場所
阿賀野市役所 4階 403会議室
- 4 出席者（傍聴者を除く。）の氏名（敬称略）
 - ・出席：大淵委員長、市村代理、漆山委員、太田委員、小野里委員、小林委員、齋藤委員（欠席：関口委員、菅井委員、成川委員）（10人中7人出席）
 - ・事務局：企画財政課（羽賀課長、石井係長、廣川主任）
- 5 事務事業の外部評価及び行政改革の推進について（諮問）（公開）
- 6 議題（公開・非公開の別）
 - （1）今年度の取組内容及び会議公開の取り扱いについて（公開）
 - （2）事務事業評価の対象事業の決定及び実施手法について（公開）
- 7 その他
- 8 非公開の理由
なし
- 9 傍聴者の数
0人

10 発言の内容

事務事業の外部評価及び行政改革の推進について（諮問）（公開）

～ 市長から委員長へ 諮問書の手交 ～

委員長：今年度のスタートということで、前捌きについては事務局と私で打合せをさせていただいた。今年度も同じように事業評価を行うが、前から話はあったが上がってくる事業については、ある程度、委員会でも選択の余地があるのであれば、ということで事前に皆様方に資料の配布によってお願いしているところであるが、本日の追加資料として「資料5」、これは昨年度の事業評価の進捗状況、「広報あがの12月号」についても載っていたと思う。

また、それ以降の取り組みについても、自らが関わった事業については広報やお知らせ等を見ていただければ、「少しは動いているのだな」というのが判ると思う。

それでは、先ほど資料の確認は終了したので、議題により進みたいと思う。「今年度の取組内容及び会議公開の取り扱いについて」事務局から説明願います。

議題（1）今年度の取組内容及び会議公開の取り扱いについて（公開）

（資料に基づき、事務局より説明）

委員長：今年度の当委員会の活動内容と会議の取り扱いについては説明のあったとおり、事務事業評価は9月20日ということで、ある程度時間があるので皆さんの調整をお願いしたいと思う。

それから、「行政改革推進計画」これは総合計画の中の一つになるということなのか。

事務局：最上位計画である総合計画を補完する計画という位置づけになる。

委員長：これもやはり諮問という形で市長からお願いされるものなのか。

事務局：諮問書の中の（2）の部分がこの行政改革推進計画にあたる。

委員長：今年度、行政改革についてはこのように進めてください、あるいは指針としてこういった方向性が必要ですよ、というようなものをご提言するという形になるわけですが、やってすぐにといいわけにもいかないと思うので、こうした外部評価も含めて、方向性やあるべき姿を提言すると、その場合には我々のような外部の目も通して下さいといった内容を提言していくということでよろしいか。

事務局：計画案として「たたき台」を事務局で作成し、その方向性を確認いただき

たい。

委員長 : 時期は事務事業の評価が終わってからか。

事務局 : その通りです。

委員長 : ということで、今年度は仕事もう一つ増えているので会議は、例年だと3回か4回だと思うが、1、2回増えると思うが皆様ご協力をお願いしたい。

それから、会議の公開の取り扱いについては例年同様だが、(傍聴者は)来たことあったか。

特に評価については事務局からも説明があったが、「利益相反」というか関与がある部分だと発言も難しくなるので、事務事業評価については非公開という形になっているので了承いただきたい。

他、意見等はないか。

(意見なし)

議題(2) 事務事業評価の対象事業の決定及び実施手法について(公開)

(資料に基づき、事務局より説明)

委員長 : 新任の委員の方たちも昨年一度評価を行ったので概ねの流れや判定表の書き方は経験されているのでご存じなので、「また今年もだな」ということでお分かり頂けたと思う。基本的に変わっていないか。

事務局 : 評価シート自体は全く変わっていない。

委員長 : 私は第一段階では評価しないので、評価シートは書き方と言ってもあまり経験したことがないため、他の委員の皆様は質問等はないか。

スケジュールは9月20日8時30分で、量としては7つで昼休み明けに施設等の視察があればそれを実施する。評価の流れは例年通りだが、一事業やはり40~50分、7つやってこのタイムスケジュールになると、評価の区分としては「休止・廃止」「民間」「継続」「改善」「拡大・拡充」「統合・縮小」、判定理由は評価の枝があるがこれは違うとか、もうちょっとこういう枝付けたらとか意見はないか

委員長 : (判定理由は)複数に○(マル)を付けるのも大丈夫か。

事務局 : 判定理由は複数あってもよい。

委員長 : 事業管理シートだが、今年には既に21件の事業管理シートをご覧になったと思うが、説明なしでシートだけで選んで順番を付けてもらったため、まさに皆様方の個別の判断で順位を付けたのだと思う。今回はこの中からさらに絞って評価することになる。

事務局 : 先にお送りしたシートは、実際に評価に使用する事業管理シートより情報

が少ないものになっている。

委員：過去3か年の評価が掲載されていないものだったと思う。

事務局：その通りです。

委員：今年の最初に「平成30年度実施計画」の一覧が送られてきたが、この一覧と今回の事前に資料送付があった21事業をチェックしたのだが、実施計画一覧に載っていない事業がいくつかある。これはどういうことか。

事務局：実施計画一覧は、市の全ての事業が掲載されているわけではなく、市の総合計画を推進するうえで重要な事業と判断されるものを毎年ピックアップして今年度の実施計画事業として掲載しているものです。

委員：(実施計画には)全ての事業が載っているわけではなく、ピックアップされた事業が載っているということか。ということは、市として重要としていない事業がこの21事業に選ばれているというのはおかしいのではないか。

事務局：今回の評価対象となる21事業は、担当課として「評価が低い」とか「事業成果が上がらない」事業と考えるものの中から選定しており、重点的な実施計画事業は担当課としても力を注いでおり成果が向上しているという事業が選ばれている。こうした意味からも事業の選定としては別な方向になっている。

委員：そうすると、これ(実施計画一覧)をいただいた意味があまりないような気がしたのだが。

事務局：実施計画事業でなくても実際にはうまくいっていない事業が沢山ある。実施計画に登載するような、担当課としても重点的に取り組みを行う事業は、例えば「福祉会館維持管理事業」のような、例年同じように施設の維持管理をしていかななくてはいけない事業は、今年は何か新しいことをやるということがない限り、重点事業にするといった方向性にはならない。

しかしながら、行政改革のなかでは、こうした施設のようなずっと同じことをして毎年同じような経費がかかる事業について、なにか効率的で効果的なやり方がないのかというところで、そういった事業を選んでそこからコスト削減や効率的な事務を目指していきたいと考えているため、(実施計画事業とは)選ぶ事業が別になってきてしまう。

そちらの一覧をお送りしたのは、委員の皆様在今年度の市の重点的な事業を参考として見ていただきたいのでお送りしているという趣旨になります。

事務事業の趣旨とは別の目的でお送りしているものです。

委員長：どちらかと言うとそちら(実施計画事業一覧)から漏れたものがこっち(評価候補21事業)にはいつているということ。

たしかに「福祉会館維持管理事業」といつて重点的な事業としても、例年同じことやっていますということでは実施計画事業には載せにくいと思う。

委員 : こうやって (実施計画事業一覧を) いただくと、一般的には市の全ての事業がここに網羅されていると思ってしまう。

委員長 : そもそも事務事業が 800 数件のうち、市が一般財源として手がかけられるものが 500 数件としているわけで、さらにその中で絞り込んでということになる。

委員 : 例えば、国庫補助などで額の大きい事業はあまり出てこないが、(実施計画事業一覧では) そういった事業も含めて掲載されている。逆に、(事業評価では) そういう事業以外のものがあった方がいいのではと思う。

委員 : 今回順位を付けながら内容を見ていったのだが、事業から外してしまうとか、必要ないとか、そういった判断をするべきかと迷った。なくしてしまえば、第 3 者に委託するとかそういう判断をするべきなのじゃないかという事業もあると感じた。

金額の多い少ないは別として事業として外部委託するとか、そういった印象を受けた事業がある。

事務局 : そういったお考えを評価に反映いただきたい。今回の 21 事業を選定するなかで事務局でも、もう少し効率的な考え方ができるのではないかと等々を考慮しており、担当課においてもそうした考えが評価が低い部分に繋がっていると思う。ただし、こうした事業は市民の皆様が関わるものが多いことから市民の皆様の意見をお聞きして今後の事業展開に反映させたいと言う趣旨から今回選定している。

委員 : 成果実績「大・中・小・なし」というがあるが、「中・小・なし」というのはあるが、担当課で「大」というのはないのか。

事務局 : 担当課が評価した事業には成果実績「大」というのもあるのだが、今回の選定した 21 の事務事業にはあえて評価の低い事業を選んでいる。

委員 : そうした評価をしても、阿賀野市民としては、必要な事業として回ってきているというものもあると思うが、そこら辺の兼ね合いが大事。なくしてしまってもいいのかというのも一つの疑問点がある。

委員 : 例えば「買い物支援事業」というのがあるが、これが成果実績「大」である。しかし、この事業を考えた場合、例えば「セブンイレブン」でも配達をやっている。市がやるべきなのかという考え方もある。そういった観点から考えていくほかない。

委員長 : 「買い物支援事業」は平成 29 年度からの事業であるため、まだ知れ渡っていない部分もあると思う。そういう意味ではやめてしまえという考えと、もう少し PR を考えた方がいいという考えがあって、そのあたりが評価の段階で割れるので、もしこの事業が上がってきた場合は、皆さんはどう考えるかを図った方がいい。

委員：買い物難民が増えるので民間は受け止めたいと考えており、無料で宅配しますというのもやっている。

委員：そもそもこの事業というのは、誰が始めるのか。市か、議員発議か。

事務局：職員が企画してスタートした事業もあるし、法律で決まった事業もある。

また、議員からこうすべきだと言うご意見をいただき、それを参考に構築するような事業もある。

委員：それを最終的にここ（行政改革推進委員会）に持ってきてやるかやらないかを決めるのは過去から疑問に思っていた。

事務局：一旦、事業を始めると利用者がある事業は相手方がいることから廃止するのは難しい状況になってしまっていて続いている事業もある。

委員：市で評価しているのだから、やめたいのであればやめてしまってもいいのではと感じる。

委員：新しい事業を始める時には、ひとつ事業を捨ててからやればいいのに、ビルド&ビルドでやっているのだからだめなのだと思う。

齋藤委員：同じようなことをやって名目は違うが同じ目的の事業はいくつかある。そういうものをやめないといけない。

事務局：客観的な判断を高めるために成果指標と言う数値目標をもって、指標が達していないのであれば変える必要があるのではないかというスタンスをとっているのであるが、それに加えて皆様からも客観的なご意見をいただきたい。

委員長：昨年の「園芸振興等推進事業」も全く当初の事業から目的が変わっても名前を変えて事業として生きてるものもある。

スタートはそれぞれだろう。

まさに、この委員会の存在意義を問う貴重なご意見をいただいた。

他にもご意見等ありますか。

（意見なし）

では、集計結果を事務局からお願いします。

事務局：（集計結果に基づき政策番号ごとに最も点数を獲得した6事業をを下記のとおり発表する。）

政策番号1 「水原屋内運動場、テニスコート維持管理事業」（16点）

政策番号2、3 「子ども医療費助成事業」（27点）

政策番号4 「安田瓦普及支援事業」及び

- 「宝珠温泉保養センターあかまつ荘運営事業」（同点 21 点）
政策番号 5 「虹の架け橋住宅取得支援事業」（12 点）
政策番号 6 「広報紙発行业業」（21 点）

委員長 : この選択でよろしいか。

多数決が一番民主的なのであればこの点数が多い事業を対象事業とすべきであるが、それでもまだ（昨年度 7 事業からすると）1 事業足りない。

事務局 : 政策番号 1 で、合計点数 15 点で第 2 位となった「福社会館維持管理事業」は（最高点である）3 点とした委員が 3 人、0 点の委員も 3 人いらっしゃる状況であるが、1 位の「水原屋内運動場、テニスコート維持管理事業」は 3 点の委員さんは 1 人だけであった。

委員長 : それでは、数値のうえで行けば先ほどの申し上げた事業になる。

政策番号 1 で上げた事業は、第 2 位であった「福社会館維持管理事業」を 1 位とした委員が 3 人いることから、この事業も対象事業とするべきであると考えてるかどうか。

（異議なし）

委員長 : では、政策番号 1 は「水原屋内運動場、テニスコート維持管理事業」と「福社会館維持管理事業」、
政策番号 2、3 からは「子ども医療費助成事業」、
政策番号 4 は同数があるので 2 事業として「安田瓦普及支援事業」「宝珠温泉保養センターあかまつ荘運営事業」、
政策番号 5 については「虹の架け橋住宅取得支援事業」、
政策番号 6 は、「広報紙発行业業」
以上で 7 事業となるが皆さんどうですか。

それでは、この 7 事業について、9 月 20 日に実際の評価を行いたいと思います。

では、本日の議題としては以上ですが、事務局で他に何かありますか。

その他について

（資料 5 『平成 29 年度の事務事業評価（外部評価）の評価結果に基づく「市の取組方針」進捗状況一覧』について事務局より説明）

委員長 : すぐに成果がというわけではないが、取り組み中ということか。

事務局 : その通りです。

委員：今年の春に天朝山公園に行ったが桜が綺麗で非常にもったいないと感じた。
若い夫婦に聞いたら駐車場がないから行けないと言っていた。

委員長：消防団の活動についても、最近も「広報あがの」に掲載されていたようである。

昨年度の答申により、すぐにというわけではないが、市ではこのように取り組んでいるということである。

他に、今回の会議全般のことを含めて何か質問はないか。

(質問なし)

委員長：それでは、質問がないようなのでこれで終了としたい。

今回は9月20日の実際の外部評価となる。

【 閉 会 】

11 問い合わせ先

阿賀野市役所 総務部 企画財政課 企画係

TEL：0250-62-2510（内線 2243）

E-mail：kikaku@city.agano.niigata.jp